

基本目標	社会的に自立した人を育てる				
成果指標	「子育て・教育をしてよかったと思う人」の割合	本年度目標値	87.5%	現状値	80.6%
成果指標	「地域・社会活動をする人」の割合	本年度目標値	60.0%	現状値	52.6%

	実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
第1四半期	【強い心をもつ人財の育成】については、中学校宿泊訓練事業、hyper-QU事業、中学校文化部活動外部指導者派遣事業を実施した。また、読書活動の推進を図るため、6月に学校司書1名を配置した。文化芸術活動においては、田野小でのオペラ公演の実施(巡回公演事業)、七井小での音楽の講師派遣(派遣事業)、中学生移動音楽鑑賞教室の開催により、児童・生徒の心を豊かにするとともに、芸術文化への関心を高めることができた。 【学びを通して社会に貢献できる人財の育成】については、中1の町独自学力調査事業(小3・中1)、マイチャレンジ推進事業(田野中・七井中)が終了し、その課題と成果をまとめた。ALT活用事業については、教材開発や効果的な指導のあり方を検討するため、今年度より月1回、ALTミーティングを実施している。外国語活動小中連携事業については、3中学校での授業参観、外国語活動推進委員会の開催、田野小での外国語活動研究授業及び授業研究会を実施し、指導の工夫・改善を図った。英検検定補助事業については、第1回3級以上の受検者20名に対し補助金を交付した。また、育脳プログラムについては、5月に第4回作成委員会、子育て講演会・講座を開催し、原案を作成した。 【たくましく生きるための人財育成】については、体力向上プログラムを小中学校に配布するとともに、6月に田野小、益子中において体力向上プログラム活用授業参観・授業研究会を実施し、効果的な活用のあり方について協議した。指導者育成教室については、町体育協会総会、スポーツ少年団総会において説明するとともに、全体講習の講師及び開催の日程を決めた。 【人財が育つ環境づくり】については、ましこ町民大学の入学生募集を6月1日から開始した。ましこ検定については、第1回実行委員会を開催し、第1回検定についての課題等について協議した。遊びの達人による講座については、年間5回実施予定であり、第1回講座(魚釣り、サワガニ捕り)を6月に実施した。参加者は19名であった。	【強い心】の視点では、hyper-QU事業については、その結果を踏まえ、8月に研修会を開催し教員の指導力の向上を図る。学校司書については、7校巡回勤務という現状を踏まえ、各学校の現状や要望を把握し、支援のあり方を検討する。中学校文化部活動については、吹奏楽部には外部指導者が配置され、美術部にも陶芸講師が配置されているため、学校からの要望はないが、今後活動状況を把握し対応を検討する。また、「豊かな心育成のまち宣言」及び「子どもの読書活動推進計画」の策定については、策定委員会設置要綱(案)を作成し、策定委員会開催の準備を進める。 【学び】の視点では、町独自学力調査の結果については、小3・中1ともにほぼ県平均を超えているが、中1の社会科の学力に課題があった。今後8月に開催する学力向上検討委員会において課題の分析と対策を検討する。ALT活用事業については、夏季研修としてALTを講師に外国語活動スキルアップ講座を開催し、指導力の向上を図る。中学生海外派遣事業については、8月に結団式、事前研修会を実施し、10月の壮行会に向けて準備を進める。育脳プログラムについては、9月に子育て講演会・講座、第5回作成委員会を開催し、原案を完成させる。 【たくましさ】の視点では、中学校運動部活動外部指導者派遣事業については、20運動部のうち13運動部が外部指導者を配置し、4部活動が顧問のみでの指導が可能である。残り3部活動については外部指導者の配置を希望しており対応を検討する。ましこチャレンジクラブについては、プログラムの充実と広報活動を積極的に支援する。 【環境づくり】の視点では、ましこ町民大学の入学者を増やすために自治会等に働きかける。ましこ検定についても、受験者が少なかったことを踏まえ、広報活動を工夫し、小学生、中学生、高校生にも働きかける。遊びの達人による講座については、現在、遊びの達人の登録者数は7名であり、今後増やせるよう広報周知を図る。

基本目標	社会的に自立した人を育てる				
成果指標	「子育て・教育をしてよかったと思う人」の割合	本年度目標値	87.5%	現状値	80.6%
成果指標	「地域・社会活動をする人」の割合	本年度目標値	60.0%	現状値	52.6%

	実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
第2四半期	【勁い心をもつ人財の育成】の視点では、hyper-QU事業については、8月10日に hyper-QU研修会を実施した。また、各学校では研修参加者による伝達を現職教育等で行い、活用について理解を図った。学校司書配置については、学校司書の活用により図書の整備、図書館だよりの発行など、図書館環境の改善に努めた。子どもの心を育てる事業については、8月25日に第1回豊かな心育成のまち宣言策定委員会会議を開催し、宣言(案)を作成した。また、8月31日には「第1回子ども読書活動推進計画策定委員会会議を開催し、計画(案)を作成した。 【学びを通して社会に貢献できる人財の育成】の視点では、全国学力・学習状況調査については、小6が全国平均を下回ったが、中3では全国平均と同等であり、全国25位の学力であった。外国語活動小中連携事業については、8月4日に英語力アップ講座、8月7日に小学校外国語活動研修会を開催し、指導力の向上を図った。また、英検検定料補助金交付事業については、第1回3級以上の受験者は20名、合格者は13名であった。育脳プログラム作成事業については、9月20日に第5回育脳プログラム作成委員会会議を開催し、育脳プログラムを完成させた。 【たくましく生きるための人財の育成】の視点では、体力づくりについては、新体力テストA級以上の取得者は 11.5%であった。指導者育成教室については、全体講習として9月2日に帝京大学ラグビー部監督 岩出雅之 氏講演会を実施し、参加者は 140 名であった。マシコット体操については、作詞を町職員、作曲を町内在住の音楽家に依頼することを念頭に検討を始めた。 【人財が育つ環境づくり】の視点では、ましこ町民大学(第5期)については、9月3日に入学式を挙行し、第1回～第5回の講義を無事終了した。ましこ検定については、8月10日に第2回実行委員会、9月12日に第3回実行委員会を開催し、募集案内の検討を行った。遊びの達人による講座については、7月22日に第2回「虫とり教室」を実施した。子ども37名、大人12名が参加し、好評を博した。	【勁い心】の視点では、hyper-QU事業については、第2回を実施し活用の仕方を支援する。学校司書配置については、学校司書の勤務日を調整し、司書教諭との連携を強化する。文化芸術による子どもの育成事業については、10月4日に益子小でのオペラ公演(子ども 夢・アート・アカデミー)、12月1日には益子小での狂言(巡回公演事業)の実施により、文化芸術への興味・関心を高める。子どもの心を育てる事業では、10月に第2回豊かな心育成のまち宣言策定委員会会議及び第2回子どもの読書活動推進計画策定委員会会議を開催し、それぞれの原案を検討する。 【学び】の視点では、学力向上推進事業については、学力向上改善プランに基づき、学力向上応援団派遣事業及び学力向上推進リーダー派遣事業を活用して各学校への計画的な支援を行う。外国語活動小中連携事業については、10月4日に田野小学校で外国語活動研究授業及び授業研究会を実施し、11月2日の中間発表に向けて授業力の向上を図る。育脳プログラム作成事業については、プログラム原稿の校正、印刷を行う。また、プログラムの啓発普及や実践に向けて、保健センター職員及び子育て支援関係者で研修会を開催する。 【たくましさ】の視点では、体力づくりについては、要望のあった運動用具を発注し、10月中旬に各学校に納品する。また、体力向上プログラムを計画的に活用し、体力向上に向けた取組を支援する。ましこチャレンジクラブについては、加入者が9月で 558 名であり、昨年同期 590 名と比べ停滞気味である。広報お知らせ版を利用し、継続的にPRを続ける。 【環境づくり】の視点では、ましこ町民大学(第5期)については、第6回～第16回の講義を実施する。ましこ検定については、11月に第4回実行委員会を開催し、検定問題の検討を行う。また、受験者数を増やすために、引き続き小学生、中学生、高校生にも働きかける。遊びの達人による講座については、11月4日に第3回「雨巻山に登ろう」を実施する。また、講座の案内については、広報により町民への周知を図る。

基本目標	社会的に自立した人を育てる				
成果指標	「子育て・教育をしてよかったと思う人」の割合	本年度目標値	87.5%	現状値	80.6%
成果指標	「地域・社会活動をする人」の割合	本年度目標値	60.0%	現状値	52.6%

	実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
第3 四半期	【勁い心をもつ人財の育成】の視点では、hyper-QU事業については2回目を実施し、その活用のあり方について助言を行った。2学期終了後(1・2学期分)の皆勤者の割合は、小学校 51.8%、中学校 56.2%、町全体では 53.3%であった。文化芸術による子どもの育成事業については、益子小において、10月4日に「オペラ公演」、12月1日に「狂言」を開催し、文化芸術への興味・関心を高めることができた。子どもの心を育てる事業については、12月26日の全員協議会において、「豊かな心育成のまち宣言」及び「子どもの読書活動推進計画」について説明・報告を行った。 【学びを通して社会に貢献できる人財の育成】の視点では、学力向上推進事業については、10月・11月に田野小・益子小・七井小において、学力向上応援団派遣事業研究授業・授業研究会を実施し、指導力向上の検証・改善を行った。外国語活動小中連携事業については、田野小において10月4日に外国語活動研究授業及び授業研究会を実施するとともに、11月2日には教育課程特例校中間発表会を開催し研究の成果を確認した。英検検定補助事業については、第2回終了時における3年生の3級以上取得者数は50名で、取得率は21.4%であった。 【たくましく生きるための人財の育成】の視点では、体力づくりについては、各学校から要望のあった運動用具を10月に納品し、活用に向けた取組を支援した。また、益子中では県教委から体力向上における顕著な成果が認められ、平成29年度新体力テスト優秀校表彰を受けた。ましこチャレンジクラブについては、第7回・8回・9回運営委員会において、運営のあり方やスポーツ交流会等について検討した。加入者は12月末で 609 名となり増加傾向にある。 【人財が育つ環境づくり】の視点では、ましこ町民大学については、第6回～第16回の講義を無事終了できた。ましこ検定については、12月校長会で説明し、児童・生徒に受検してもらうようお願いした。遊びの達人による講座については、11月4日に第3回「雨巻山登山」を実施した。参加者は20名であった。	【勁い心】の視点では、小・中学校の1年間皆勤率の目標値が 52.0%であることを踏まえ、引き続き不登校や病気にならないよう心身の健康保持や皆勤奨励などについて各学校へ働きかける。学校司書配置については、授業や読み聞かせ用図書のリファレンス対応、図書ボランティアとの連携など、引き続き学校図書館活動を活性化させる。子どもの心を育てる事業については、次年度の移動音楽鑑賞教室の内容を決定し、日程調整を行う。また、「子どもの読書活動推進計画」について概要版を作成し、3月に全戸に配布する。 【学び】の視点では、学力向上推進事業については1月25日・26日に小学校全学年を対象とする第2回町学力調査を実施し、2月中には調査結果を分析して学力向上検討委員会で報告する。また、2月2日には益子小においてICT授業研究会を開催し、指導力の向上を図る。外国語活動小中連携事業については、次年度の移行期に向け外国語活動推進委員会において外国語活動及び外国語科の年間指導計画を作成する。中学生海外派遣事業については、1月5日に報告会を実施し、その成果を確認する。 【たくましさ】の視点では、少年スポーツ教室(柔道・卓球・バレーボール・バドミントン・ソフトテニス)及び指導者育成教室(バドミントン・陸上競技)については、講師依頼など計画的に準備を進める。町民に親しまれる体操(マシコット体操)については、町職員(ましキャラクターズ)による作詞をもとに、町内在住音楽家 高島聡美 氏に作曲を依頼する。平成30年3月末に完成予定である。 【環境づくり】の視点では、ましこ町民大学については、第17回～第22回までの講義と卒業式(2月17日)の準備を進める。ましこ検定については、2月に第4回実行委員会を開催し、2月24日実施の検定に向けて最終打合せを行う。遊びの達人による講座については、2月24日の第4回「鳥の巣箱作り」に向けて準備を行う。

基本目標	社会的に自立した人を育てる				
成果指標	「子育て・教育をしてよかったと思う人」の割合	本年度目標値	87.5%	現状値	80.6%
成果指標	「地域・社会活動をする人」の割合	本年度目標値	60.0%	現状値	52.6%

	実施内容・成果の総括	次年度の方針
年度総括 (第4四半期分も含む)	成果指標1「子育て・教育をしてよかったと思う人」の割合は 80.6%であり、目標値 87.5%に達しなかった。また、成果指標2「地域・社会活動をする人」の割合についても 50.5%であり、目標値 60.0%には達しなかった。本年度の成果の総括は、次のとおりである。 【勤い心をもつ人財の育成】については、指標1「小・中学生の1年間の皆勤率」は 45.0%であり、目標値 52.0%に達しなかった。また、指標2「子育て支援教室に参加し満足した人」の割合についても 98.2%であり、目標値 99.0%には達しなかった。主な事業として、小・中学校宿泊訓練事業、QU事業、学校司書配置事業、子育て支援教室、中学生移動音楽鑑賞教室、文化庁巡回公演事業(田野小・益子小・七井小)を実施した。施策1の進捗状況は 100%である。 【学びを通して社会に貢献できる人財の育成】については、指標1「全国学力テスト全国順位(中学3年時)」は全国25位であり、目標値5位以内に届かなかった。指標2「中学校における英検3級取得率」は 22.6%であり、目標値 22.0%を超えた。主な事業として、町学力状況調査事業、マイチャレンジ推進事業、育脳プログラム作成事業、英検検定料補助金交付事業、町中学生海外派遣事業を実施した。施策2の進捗状況は 100%である。 【たくましく生きるための人財の育成】については、指標2「小学生のスポーツクラブ参加率」は 60.6%であり、目標値 64.0%に達しなかった。指標3「小・中学生の新体力テストA級以上の取得者の割合」は 11.4%であり、目標値 12.5%に達しなかった。主な事業として、体力向上プログラム活用事業、マシコット体操の歌詞・楽曲作製、指導者育成教室、少年スポーツ教室を実施した。施策3の進捗状況は 100%である。 【人財が育つ環境づくり】については、指標1「町民学士認定者数」は延べ 155 人、指標2「ましこ検定の合格者数」は 20 人である。指標3「遊びの達人の登録者数」は 8 人であり、目標値5人を超えた。主な事業として、第2回ましこ検定、ましこ町民大学、遊びの達人による講座(4回)を実施した。施策4の進捗状況は 100%である。	次年度の成果指標1の割合は 88.0%、成果指標2の割合は 62.0 である。次年度の方針は次のとおりである。 【勤い心をもつ人財の育成】については、指標1は平成 28 年度 45.9%、平成 29 年度 45.0%であり、ほぼ横ばいである。目標値に到達できるよう各学校への支援を行う。指標2は目標値 99.0%到達できるよう内容の充実を図る。主な事業は、小学生移動音楽鑑賞教室の開催、栃木県巡回公演事業(演劇:七井小)、文化庁公演事業、学校司書2名配置による学校図書館活用事業である。また、「豊かな心育成のまち宣言」及び「子ども読書活動推進計画」の推進に努める。 【学びを通して社会に貢献できる人財の育成】については、指標1の全国順位5位以内を達成する。指標2の目標値については、平成 30 年度目標値 26.0%の達成を目指し、受験者を増やす。主な事業は、町学力状況調査事業(年2回)、小学校外国語活動小中連携事業、英検検定料補助金交付事業、育脳プログラム活用事業である。また、育脳プログラム(リーフレット)については、5月中に子育て世代(小学校3年生以下)に配布する。 【たくましく生きるための人財の育成】については、指標2の目標値 65.0%に到達できるよう広報周知を図る。指標3については、目標値 13.0%に到達できるよう、体力向上プログラムの活用、体力向上指導者研修会の充実に努める。主な事業は、体力向上プログラム活用事業、中学校運動部活動外部指導者派遣事業、マシコット体操活用事業、指導者育成事業である。 【人財が育つ環境づくり】については、指標1の目標値延べ 198 人、指標2の目標値 50 人、指標3の目標値 10 人に到達できるよう広報周知を図る。主な事業は、ましこ町民大学の開校、第3回ましこ検定の実施、遊びの達人による講座の開催である。

		課局名	健康福祉課		
基本目標	社会に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人財の育成の育成		
施策	強い心を持つ人財の育成	進捗状況	100%		
KPI	小・中学生の1年間皆勤率	本年度目標値	52.0%	現状値	45.0%
KPI	「子育て支援教室に参加し満足した人」の割合	本年度目標値	99.0%	現状値	98.2%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月			①9か月児健診（4/26:10名）読み聞かせ・絵本配布実施。 ①4か月健診・12か月健康相談時パンフレットを配布し食育講話を実施。③離乳食教室を開催。 ③赤ちゃんマッサージ（4/3:5組）おっぱい相談（4/3:2組）リトミック（4/10:4組）	
	5月	①9か月健診時ファーストブックスタート、3歳児健診時セカンドブックスタート事業を実施。読み聞かせと絵本の配布。 ①早寝・早起き・朝ごはんの普及啓発のために、乳幼児健診等で『レシピの紹介』や情報の発信を行う。 ②保育園、認定こども園に対し強い心になるための保育・教育の実施について協力を依頼する。 ③子育て教室や食育教室等の開催により親への支援を図る。		①9か月健診（5/23:15名）3歳児健診（5/16:34名）読み聞かせと絵本配布実施。 ①4か月健診・12か月健康相談時パンフレットを配布し食育講話を実施。 ③赤ちゃんマッサージ（5/8:5組）おっぱい相談（5/8:2組）	
	6月			①9か月児健診（6/26:10名）読み聞かせ・絵本配布実施。 ①4か月健診・12か月健康相談・2歳児歯科検診時パンフレットを配布し食育講話を実施。 ③赤ちゃんマッサージ（6/5:8組）おっぱい相談（5/8:2組）リトミック（6/12:7組）ママパパ広場（6/11:4組7名）	
	7月			①9か月児健診（7/19:22名）3歳児健診（7/12:33名）読み聞かせ・絵本配布実施。 ①4か月健診・12か月健康相談時パンフレットを配布し食育講話を実施。③離乳食教室を開催。 ③赤ちゃんマッサージ（7/3:5組）おっぱい相談（7/3:2組）赤ちゃん体操（7/10:2名）	
	8月	①9か月健診時ファーストブックスタート、3歳児健診時セカンドブックスタート事業を実施。読み聞かせと絵本の配布。 ①早寝・早起き・朝ごはんの普及啓発のために、乳幼児健診等で『レシピの紹介』や情報の発信を行う。 ②保育園、認定こども園に対し強い心になるための保育・教育の実施について協力を依頼する。 ③子育て教室や食育教室等の開催により親への支援を図る。		①9か月児健診（8/30:14名） ①4か月健診・12か月健康相談時パンフレットを配布し食育講話を実施。 ③リトミック（8/28:4組）	
	9月			①9か月児健診（9/27:17名）3歳児健診（9/6:26名）読み聞かせと絵本配布実施。 ①4か月健診・12か月健康相談・2歳児歯科検診時パンフレットを配布し食育講話を実施。 ③赤ちゃんマッサージ（9/4:2組）赤ちゃん体操（9/11:2組）ママパパ広場（9/3:9組）	
	10月			①9か月児健診（10/18:9名）読み聞かせ・絵本配布実施。 ①4か月健診・12か月健康相談・2歳児歯科検診時パンフレットを配布し食育講話を実施。 ③赤ちゃんマッサージ（10/2:7組）おっぱい相談（10/2:0組）リトミック（10/16:5組）③離乳食教室を開催。	
	11月	①9か月健診時ファーストブックスタート、3歳児健診時セカンドブックスタート事業を実施。読み聞かせと絵本の配布。 ①早寝・早起き・朝ごはんの普及啓発のために、乳幼児健診等で『レシピの紹介』や情報の発信を行う。 ②保育園、認定こども園に対し強い心になるための保育・教育の実施について協力を依頼する。 ③子育て教室や食育教室等の開催により親への支援を図る。		①9か月児健診（11/13:13名）3歳児健診（11/1:31名）読み聞かせ・絵本配布実施。 ①4か月健診・12か月健康相談時パンフレットを配布し食育講話を実施。 ③赤ちゃんマッサージ（11/6:7組）おっぱい相談（11/6:0組）赤ちゃん体操（11/13:2名）	
	12月			①9か月児健診（12/20:8名）読み聞かせ・絵本配布実施。 ①4か月健診・12か月健康相談時パンフレットを配布し食育講話を実施。 ③赤ちゃんマッサージ（12/4:4組）おっぱい相談（12/4:1組）リトミック（12/11:10組）ママパパ広場（12/3:7組13名）	
	1月			①9か月児健診（1/31:5名）3歳児健診（1/15:27名）読み聞かせ・絵本配布実施。 ①4か月健診・12か月健康相談時パンフレットを配布し食育講話を実施。 ③赤ちゃんマッサージ（1/22:12組）おっぱい相談（1/22:0組）赤ちゃん体操（1/29:3名）③離乳食教室を実施。	
	2月	①9か月健診時ファーストブックスタート、3歳児健診時セカンドブックスタート事業を実施。読み聞かせと絵本の配布。 ①早寝・早起き・朝ごはんの普及啓発のために、乳幼児健診等で『レシピの紹介』や情報の発信を行う。 ②保育園、認定こども園に対し強い心になるための保育・教育の実施について協力を依頼する。 ③子育て教室や食育教室等の開催により親への支援を図る。		①9か月児健診（2/21:10名）読み聞かせ・絵本配布実施。 ①4か月健診・12か月健康相談時パンフレットを配布し食育講話を実施。 ③赤ちゃんマッサージ（2/5:6組）おっぱい相談（2/5:1組）リトミック（2/19:11名）	
	3月			①9か月児健診（3/27:12名）3歳児健診（3/9:31名）読み聞かせ・絵本配布実施。 ①4か月健診・12か月健康相談時パンフレットを配布し食育講話を実施。 ③赤ちゃんマッサージ（3/5:8組）おっぱい相談（3/5:2組）赤ちゃん体操（3/12:6組）ママパパ広場（3/4:3組6名）	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	①9か月健診・3歳児健診において、絵本のプレゼント及び読み聞かせを実施。絵本のプレゼントは好評である。また、各種乳幼児健診等とおして早寝・早起き・朝ごはんを普及、子どもの豊かな心を育むための取り組みを実施している。 ③子育て教室や乳幼児期からの食育教室等の開催。	①③関係各課・関係機関と連携を取りながら、子ども・子育てのため継続して支援していく。
第2四半期	①9か月健診、3歳児健診において、絵本のプレゼント及び読み聞かせを実施している。絵本をとおした親子のふれ合いを持つ事が、こどもの健やかな成長へ繋がる事を、実践的な方法で保護者へ伝えている。また、各種乳幼児健診時に、こどもの成長の基本でもある『早寝・早起き・朝ごはん』をはじめ、子どもの豊かな心を育むための取組を実施している。	①③各関係機関と連携を図りながら、子どもが健やかに成長していけるよう引き続き支援をしていく。
第3四半期	①9か月健診、3歳児健診において、絵本のプレゼント及び読み聞かせを実施している。絵本をとおした親子のふれ合いを持つ事が、こどもの健やかな成長へ繋がる事を、実践的な方法で保護者へ伝えている。また、各種乳幼児健診時に、こどもの成長の基本でもある『早寝・早起き・朝ごはん』をはじめ、子どもの豊かな心を育むための取組を実施している。 ②行政と園とが共同し、子どもの成長発達を促すため、適宜情報交換を実施。 ③各、事業を通し、子育て世代の保護者に対し子育てに対する困り感を聴取し対応方法のアドバイス等、支援を実施している。	①②③各、関係機関と連携を図りながら、子どもが健やかに成長していけるよう引き続き支援をしていく。
第4四半期	①9か月健診、3歳児健診において、絵本のプレゼント及び読み聞かせを実施している。絵本をとおした親子のふれ合いを持つ事が、こどもの健やかな成長へ繋がる事を、実践的な方法で保護者へ伝えている。また、各種乳幼児健診時に、こどもの成長の基本でもある『早寝・早起き・朝ごはん』をはじめ、子どもの豊かな心を育むための取組を実施している。 ②行政と園とが共同し、子どもの成長発達を促すため、適宜情報交換を実施。 ③各、事業を通し、子育て世代の保護者に対し子育てに対する困り感を聴取し対応方法のアドバイス等、支援を実施している。	①②③各、関係機関と連携を図りながら、子どもが健やかに成長していけるよう引き続き支援をしていく。 平成30年度に向け、子育て教室内容の整理をし、参加者にとってより有意義な教室を開催する。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての 次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	各関係機関と連携を図りながら、子供が健やかに成長して いけるよう引き続き支援していく。
	第2 四半期		
総括（下半期も含む）	第3 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	各関係機関と連携を図りながら、子供が健やかに成長して いけるよう引き続き支援していく。
	総括（第4 四半期も含む）		

		課局名	学校教育課		
基本目標	社会に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人材の育成		
施策	強い心を持つ人材の育成	進捗状況	100%		
KPI	小・中学生の1年間登勤率	本年度目標値	52.0%	現状値	45.0%
KPI	「子育て支援教室に参加し満足した人」の割合	本年度目標値	99.0%	現状値	98.2%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	①中学校文化部活動外部指導者派遣事業を実施し、各中学校の文化部に外部指導者を派遣し、保険加入処理をする。		①4/6 各小中学校へ、文化芸術による子供の育成事業の一つである「子供 夢・アートアカデミー事業」の周知。 ①4/10 外部指導者の推薦を依頼 4/27 外部指導者の申請書受理 ②4/17 hyper-QU事業を各小中学校へ周知。 ①4/28 文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）決定の通知（田野小、益子小）子供の育成事業（芸術家の派遣）決定の通知（七井小）	
	5月	①新規中学校文化部活動外部指導者に対しては外部指導者調書の提出依頼。 ①各小中学校へ文化庁事業「文化芸術による子供の育成事業」の周知を行う。 ②hyper-QU事業を各小中学校へ周知する。全小中学校で第1回目を実施する。		②5/16(益子中)5/19(七井中)5/29(田野中) 宿泊訓練事業補助金の交付決定・概算払い。5/19 外部指導者の決定。各中学校へ派遣。 ②5/10(七井小) 5/22(田野中) 5/22(益子西小) 5/23(田野小) 5/31(益子小) hyper-QU事業実施 ①5/24 文化芸術による子供の育成事業（芸術家の派遣）振込依頼書提出 ①5/26 文化芸術による子供の育成事業—コミュニケーション能力向上事業について希望調査実施	
	6月	②各中学校へ宿泊訓練事業補助金の交付決定、概算払い		①6/1 学校司書を配置。 ①6/2 外部指導者のスポーツ保険加入処理。 ①6/16 新規外部指導者からの外部指導者調書を受領。 ①6/15 文化芸術による子供の育成事業実施。（田野小） ②6/15 益子中の宿泊訓練事業補助金の額の確定、精算。 ①6/30 文化芸術による子供の育成事業実施（七井小） ②6/16(七井小) 6/23(益子中) hyper-QU事業実施	
	7月	①各中学校へ中学校文化部活動外部指導者の今後の配置希望有無調査を実施 ①中学校文化部活動外部指導者派遣事業の（第1期分）実績報告書提出依頼。 ①中学校文化部活動外部指導者（第1期分）謝金支払い処理 ①学校図書館の蔵書数調査を行う。 ②教職員対象にhyper-QU研修会を実施		①7/3 外部指導者派遣事業（第1期分）実績報告書提出依頼及び今後の配置希望有無調査を実施。 ①7/4 育成事業選定結果通知（益子小） 7/7 巡回公演事業報告（田野小） 7/14 旅費計算書提出（益子小） 7/24 実施報告書提出（七井小） ①7/20 学校司書に係る消耗品の調査集計	
	8月			①8/8 各小中学校に依頼していた学校司書についての調査を集計 ②8/10 hyper-QU研修会を実施（教職員30名参加） ①8/18外部指導者へ指導者育成教室事業講演会の実施案内通知発送 ①8/25 育成事業決定通知（益子小） 8/29 芸術家派遣事業周知。	
	9月			①9/8 中学校文化部活動外部指導者（第1期分）謝金支払い処理 ②9/11 七井小宿泊訓練事業補助金の交付決定・概算払い ①9/22 文化芸術による子供の育成事業の一つである「芸術家の派遣事業（平成30年度）」の希望校報告 ②9/25・26・27・28(益子西小) hyper-QU事業実施	
	10月			①10/4 文化芸術（子供 夢・アート・アカデミー）実施（益子小） ②10/5(田野中)10/12・17・23(田野小)10/23(七井小) hyper-QU事業実施 ②10/2 益子小宿泊訓練事業補助金の交付決定・概算払い ①10/19 文化芸術（子供夢・アート・アカデミー）実施報告書提出 ②10/31 七井小宿泊訓練事業補助金の交付決定・概算払い	
	11月	①中学校文化部活動外部指導者派遣事業の（第2期分）実績報告書提出依頼。 ①中学校文化部活動外部指導者（第2期分）謝金支払い処理 ①文化芸術による子供の育成事業の周知、推奨をする ②11/6～11/8 臨海自然教室実施（田野小、益子小、七井小） ②全小中学校でhyper-QU事業を第2回目を実施する。hyper-QU事業の活用の方を支援する。 ①10/4 文化芸術による子供の育成事業（子供 夢・アート・アカデミー）益子小 栗林義信講師 ①12/1 文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）益子小 狂言		②11/6～11/8 臨海自然教室実施（田野小、益子小、七井小） ②11/13(田野中)11/24(益子中)11/29(益子小) hyper-QU事業実施 ①11/22 中学校文化部活動外部指導者派遣事業の（第2期分）実績報告書提出依頼。 ①11/17 H30栃木県巡回公演（演劇）希望調査実施・提出 ①11/29 H30文化芸術（巡回公演事業）希望調査実施・提出	
	12月			①12/1 文化芸術（巡回公演事業）実施（狂言 益子小） ①12/2～19 学校司書に係る消耗品配付・支払 ①12/5 文化芸術による子どもの育成事業に関する調査について回答 ①12/13 中学校文化部活動外部指導者宛て健康教室（スポーツ栄養講座）の開催通知発送 ①12/27 中学校文化部活動外部指導者（第2期分）謝金支払い処理 ②12/6 益子小宿泊訓練事業補助金の額の確定・精算 ②12/20 益子西小宿泊訓練事業補助金の交付決定・概算払い ①12/25 H30栃木県巡回公演（演劇）希望校・希望日提出 ②12/26 七井小宿泊訓練事業補助金の額の確定・精算 ①12/27 学校図書館・図書室への人の配置に関するアンケート回答	
	1月			②1/5 七井小宿泊訓練事業補助金の額の確定・精算 ①1/15～19 H30学校司書人情報掲載依頼 ①1/16 H30栃木県巡回公演（演劇）日程調整結果七井小へ周知 ②1/24～1/26 臨海自然教室実施（益子西小） ①中学校文化部活動外部指導者源泉徴収票作成処理	
	2月	①中学校文化部活動外部指導者源泉徴収票作成処理 ①中学校文化部活動外部指導者派遣事業の（第3期分）実績報告書提出依頼。 ①中学校文化部活動外部指導者（第3期分）謝金支払い処理 ①文化芸術による子供の育成事業である、巡回公演事業、芸術家の派遣事業の周知、推奨をする。 ②1/24～1/26 臨海自然教室実施（益子西小） ②hyper-QU事業実績報告書提出依頼、支払い処理		②2/7 H30学校訪問演奏会事業の実施通知受付	
	3月			①中学校文化部活動外部指導者派遣事業の（第3期分）実績報告書提出依頼。 ①3/1～3/2 H30学校司書面接 ②3/1 益子西小宿泊訓練事業補助金の額の確定・精算 ②3/8 田野小宿泊訓練事業補助金の額の確定・精算 ①3/8 H30学校司書内定通知・不採用通知発送 ①3/13 文化芸術（巡回公演事業）実施報告書提出（益子小） ①3/20 H30学校訪問演奏会事業の内定通知受付（田野中実施） ①3/23 H30学校司書辞令交付式日程通知発送 ①中学校文化部活動外部指導者（第3期分）謝金支払い処理	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
	①5文化部中、現在3文化部にて、中学校文化部活動外部指導者派遣事業を実施(新規中学校文化部活動外部指導者、昨年度と比較し1名増) 5文化部中、現在2文化部にて、中学校文化部活動外部指導者不在という状況となっている結果である。 ②益子小中学校児童生徒の第1回hyper-QU実施を確認した。7・8月にhyper-QUの結果が返却される予定。各学校の全職員で結果を分析し、不登校、いじめ対策を検討実施することで、問題行動の発生・深刻化の予防が期待できる。 ①6月に学校司書を配置した。学校司書は町内7校を巡回勤務しているため、1校あたり月に2～3日の勤務となっている。図書維持管理の充実、授業での学校図書館の活用等、各学校の課題が多くあることが分かった。 ①文化芸術による子供の育成事業(巡回講演事業)において、6月に田野小学校でオペラの公演を実施。本物の音楽劇を観ることで、児童の心を豊かにするとともに、舞台芸術に関心を持たせることができた。 ①文化芸術による子供の育成事業(派遣事業)において、6月に七井小学校で音楽の講師の派遣を実施。プロの指導を受けることで、文化芸術への関心や、教科学習への意欲を高められた。また教師も、学校教育の指導方法に役立てることができた。	①中学校文化部活動外部指導者不在でも、今後の子どもの文化芸術活動向上を支援する上で支障はないのかという課題を解決するため、各中学校へ中学校文化部活動外部指導者の今後の配置希望有無調査を実施予定。 調査結果を踏まえ、外部指導者活用の改善点や問題点を把握する必要がある。 ②皆勤率について、1学期終了後に1学期分の皆勤者数、長期欠席者数調査を実施し、実態把握とともに学校側への意識付けを図る。保護者の協力が必要であることから、情報の提供や皆勤の奨励方法について検討する。 ①学校司書について、学校の現状や要望を把握し、勤務日の調整等、支援をしていく必要がある。 ①次年度も「文化芸術による子供の育成事業」を積極的に活用する。
第2四半期	①各中学校へ中学校文化部活動外部指導者の今後の配置希望有無調査を実施したところ、5文化部中3文化部で既に外部指導者がおり、2文化部では現状必要としないという結果であった。 ②日本教育カウンセラー協会事務局北條博幸氏を招き、hyper-QU研修会を実施した。各学校でも現職教育等で伝達を行い、教職員の活用の仕方等の理解を深めた。 ①学校司書の配置により、新刊や修復の必要な図書を早く整備することができるようになった、図書館環境の見直しが行えた、テーマを設けたコーナーの設置を行う事ができた、図書館だよりを発行できるようになった、図書館利用者が増えた等の成果があった。司書の勤務日については学校の年間計画や司書教諭の希望を踏まえ1月ごとに計画しており、ボランティアや図書係との連携、夏休みの作文指導など、実施できる試みが確実に広がっていると考えている。	①中学校文化部活動外部指導者に次年度も引き続き指導してもらえるよう謝金の支払処理など速やかに処理していく。また今年度から外部指導者へ指導者育成教室事業講演会の実施案内を実施した。今後も指導等に役立つ講演会等があったら随時周知に努める。 ②各小中学校で、hyper-QUの事例研修を実施できるよう、毎年hyper-QU研修会を開催していきたい。 ①学校へ実施したアンケートでは、一校に1人学校司書を配置してほしいという意見が特に多く、現在の勤務形態では、長期的・継続的な計画がたてにくいという課題がある。
第3四半期	①文化芸術による子供の育成事業(子供・夢・アート・アカデミー)を、10月に益子小学校で実施。日本芸術院会員を講師に迎え、プロが歌う姿を間近に鑑賞し、文化芸術への関心や教科学習への意欲を高め、豊かな情操を養うことができた。 ①学校司書について、授業や読み聞かせ用図書のレファレンス対応、ボランティアとの連携が増加している。また、読書週間イベント開催等を実施した学校や、貸出方法の見直しを始めた学校などがあり、引き続き学校図書館に係る取り組みが実施されている。また、平成30年度の学校司書増員を図るため予算を要望した。 ②益子小中学校児童生徒の第2回hyper-QU実施日を確認した。12・1月にhyper-QUの結果が返却される予定。各学校の全職員で結果を分析し、不登校、いじめ対策を検討実施することで、問題行動の発生・深刻化の予防が期待できる。 ②2学期終了後に1・2学期分の皆勤者数、長期欠席者数調査を実施した結果、益子町小学校が51.8%、益子町中学校56.2%、益子町全体が53.3%であった。	①次年度の県の巡回公演事業、文化庁による芸術家の派遣事業・巡回公演事業は希望校の採否の結果通知を待つ。夢アートアカデミー事業・コミュニケーション能力向上事業は、引き続き活用を促す。 ①学校司書の次年度採用について、専門的な学校司書の確保を図るため日本図書館協会に求人情報を掲載依頼する等、準備を進める。 ②皆勤者数、長期欠席者の集計結果を学校側へ知らせ、皆勤奨励の意識付けを図る。 ②児童・生徒及び保護者に、教育相談や面談で第2回hyper-QU結果の情報の提供し、いじめや不登校等の早期発見、早期対応を図る。
第4四半期	②益子小中学校児童生徒の第2回hyper-QUの結果分析をすると、益子町の全学年とも、学級生活満足度が全国の平均を上回り、良好である。益子町全体としては上学年になれば、全国の平均を大きく上回り、大変良好である傾向にある。よりよい学校生活や友だちづくりを行うことができているといえる。 ②平成29年度皆勤者数は益子町小学校が45.5%、益子町中学校44.1%、益子町全体が45.0%であった。長期欠席者数(事故欠等含む)は益子町小学校が14人、益子町中学校35人、益子町全体が49人であった。 ①平成30年度の学校司書の採用を行った。 ①平成30年度栃木県巡回公演(演劇)において、希望していた七井小学校の内定通知が県教委から届いた。	②次年度もhyper-QUの結果を各学校の全職員で結果分析し、不登校、いじめ対策を検討実施することで、問題行動の発生・深刻化の予防をしたい。 ②益子町全体の皆勤者数、長期欠席者の集計結果を各学校へ知らせ、皆勤者率を向上させたりや長期欠席者を減らしたりする各学校の取組を支援する。 ①平成30年度は学校司書が2名となる。昨年の現場の状況を踏まえながら勤務日の調整を行いたい。また、学校司書との話し合いの場を設け、現場の課題等について対応を行いたい。 ①平成30年度栃木県巡回公演(演劇)実施に係る事務を進める。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての 次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 QU事業の有効活用を切望する。	学校司書 近年学校司書の必要性が強く認識され、文部科学省が行う第5次「学校図書館図書整備等5か年計画」では、小・中学校のおおむね1.5校に1名の配置を推奨しており、財政措置も増強されている。学校教育課でも学校司書増員を計画しており、専門的な知識・技能を持った学校司書を増員し、子どもたちのよりよい読書活動を支援していきたいと考えている。 また、文部科学省が定める「学校図書館図書標準」について、7校中5校が基準の蔵書数を満たしているが、司書教諭だけでは図書の破棄・更新が進んでおらず古い図書が多く保有されている学校もある。図書の破棄・更新を行うことで、児童生徒が正しい情報に触れる環境も整備したい。 hyper-QU事業 児童生徒の結果分析を確実にし、個々の児童生徒の支援や対応を共通理解及び行動をし、不登校、いじめ等の問題行動の発生・深刻化の予防を図りたい。
	第2 四半期		
総括（下半期も含む）	第3 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 ハイパーQU事業の有効活用し、不登校・いじめの減少を図られたい。	hyper-QU事業の結果分析結果と不登校対策の未然防止、初期対応及び自立支援が融合できるよう、教職員対象の研修会の開催や学校への指導・支援を行い、児童生徒の長期欠席者を減らす。
	総括（第4 四半期も含む）	「心の相談室」の取組は評価できる。	

		課局名	生涯学習課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人財の育成		
施策	勁い心をもつ人財の育成	進捗状況	100%		
KPI	小・中学生の1年間皆勤率	本年度目標値	52.0%	現状値	45.0%
KPI	「子育て支援教室に参加し満足した人」の割合	本年度目標値	99.0%	現状値	98.2%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月			①移動音楽鑑賞教室の生徒送迎バス会社の決定。	
	5月	①移動音楽鑑賞教室開催に向けての準備、調整を行い6月20日に開催する。 益子町豊かな心育成のまち宣言策定委員会設置要綱の策定		①移動音楽鑑賞の学校への連絡調整が終了。鑑賞希望の保護者に参加を呼び掛ける案内通知を発送。	
	6月			①学校へのアンケート依頼、プログラム送付が完了。移動音楽鑑賞教室の実施（6/20 参加者663人）アンケート調査集計（とてもよかった、よかったの回答が93.7%） 6/6益子町豊かな心育成のまち宣言策定委員会設置要綱策定・告示 益子町子どもの読書推進計画策定委員会設置要綱（案）の作成	
	7月			7/13子どもの読書推進計画策定委員会設置要綱策定・告示 7/14豊かな心宣言策定委員への委嘱依頼（6名うち1名内諾 大山叔子） 7/14子どもの読書推進計画策定委員依頼（益子中三田校長、益子小手塚校長、芳星高校鈴木教頭、大島司書）	
	8月	①益子町子ども読書推進計画策定委員会設置要綱を教育委員会へ報告 益子町豊かな心育成のまち宣言策定委員会委嘱状交付・及び第1回会議（8月） 益子町子ども読書活動推進計画策定委員会 第1回会議（8月）		8/18豊かな心育成のまち宣言策定委員決定6名 8/25第1回豊かな心育成のまち宣言策定委員会会議開催（委嘱状交付・案の作成） 8/31益子町子ども読書活動推進計画策定委員会 第1回会議（委嘱状交付・案の作成）	
	9月			9/18豊かな心育成のまち宣言内容確認締切日	
	10月	①次年度の小学生移動音楽教室の企画をする。 益子町豊かな心育成のまち宣言策定委員会 第2回会議（10月） 益子町子ども読書活動推進計画策定委員会 第2・3回会議（10月）		10/3 第2回益子町子ども読書活動推進計画策定委員会開催（内容確認作業）	
	11月	益子町豊かな心育成のまち宣言部課長会議諮問（11/24） 益子町子ども読書活動推進計画部課長諮問（11/10） 益子町子ども読書活動推進計画教育委員会諮問（12月） 益子町豊かな心育成のまち宣言教育委員会諮問（12月） 益子町子ども読書活動推進計画全員協議会に報告（12月） 益子町豊かな心育成のまち宣言全員協議会に報告（12月）		①移動音楽鑑賞教室の次年度の内容を検討 11/7 第3回益子町子ども読書活動推進計画策定委員会開催 11/28 第4回益子町子ども読書活動推進計画策定委員会開催	
	12月			①移動音楽鑑賞教室次年度の内容を決定し、校長会で報告（12/1） 益子町子ども読書活動推進計画教育委員会付議（12/12） 益子町豊かな心育成のまち宣言教育委員会付議（12/12） 益子町子ども読書活動推進計画全員協議会に報告（12/26） 益子町豊かな心育成のまち宣言全員協議会に報告（12/26）	
	1月			①移動音楽鑑賞教室の日程調整のためのアンケートを取りまとめ開催可能日を限定し芳賀教育事務所に報告（1/30） ②益子町子ども読書活動推進計画概要版の作成	
	2月	①次年度の小学生移動音楽教室の日程調整をする。 ②益子町子ども読書活動推進計画概要版の作成（1月） 益子町子ども読書活動推進計画印刷・配布（2,3月） 益子町子ども読書活動推進計画概要版の作成（3月全戸配布）		①移動音楽鑑賞教室開催日の内示をいただく。町内学校にも校長会にて、連絡済み 益子町子ども読書活動推進計画印刷	
	3月			①移動音楽教室開催日の決定、バス会社に見積依頼を発送済み（3/16） 益子町子ども読書活動推進計画概要版全戸配布	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	①益子中出身の演奏家に演奏を委託し、音楽をより身近に感じてもらうとともに、夢に向かって努力することの大切さ等を感じてもらえればと思った。熱心な演奏を通じ、音楽が好きになって、楽しく感じられる機会づくりとして今後も必要。	①次年度は小学生が対象となるため、小学生に興味関心をもってもらえるような催し物について検討する。
第2四半期	「豊かな心」「読書」とともに、内容案の作成は9割完了し、策定委員に内容の確認をしてもらっている状況。読書推進計画については、会議に欠席された委員も複数いたことから、具体的な推進施策について、直接確認等の必要有り。	①次年度の事業案を決定しなければいけない時期になるため、小学生が楽しめるプログラムの検討が必要。 委員の中には、小中教員や保育士等の日々多忙な方がおり、繁忙時期・時間帯を避け、日程調整をする。 また、内容については、実現可能な施策の推進を作成する。
第3四半期	①各小学校に連絡をし、スムーズな開催日の調整ができるようにする。	①各小学校に連絡をし、スムーズな開催日の調整ができるようにする。
第4四半期	①各小学校と連携を密にし、スムーズな開催日ができるようにする。	①各小学校と連携を密にし、スムーズな開催日ができるようにする。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての 次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	実施計画に基づき進めていく。
	第2 四半期		
総括（下半期も含む）	第3 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	実施計画に基づき各課と連携し、進めていく。
	総括（第4 四半期も含む）		

		課局名	企画課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人財の育成		
施策	学びを通して社会に貢献できる人財の育成	進捗状況	100%		
KPI	全国学力テスト全国順位	本年度目標値	5位以内	現状値	25位
KPI	中学校における英検3級取得率	本年度目標値	22.0%	現状値	22.6%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月				
	5月				
	6月			④今後開設予定の子育て支援センターの利用を検討する。	
	7月	④自習室の開設に際し、町有施設の活用を検討する		④今後開設予定の子育て支援センターの利用を検討する。	
	8月			④今後開設予定の子育て支援センターの利用を検討する。	
	9月			④今後開設予定の子育て支援センターの利用を検討する。	
	10月	④自習室の開設に際し、町有施設の活用を検討する		④今後開設予定の子育て支援センターの利用を検討する。	
	11月			④今後開設予定の子育て支援センターの利用を検討する。	
	12月			④今後開設予定の子育て支援センターの利用を検討する。	
	1月	④自習室の開設に際し、町有施設の活用を検討する		④今後開設予定の子育て支援センターの利用を検討する。	
	2月			④今後開設予定の子育て支援センターの利用を検討する。	
	3月			④今後開設予定の子育て支援センターの利用を検討する。	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1 四半期	④子育て支援センターの利用を検討し、引き続き関係する健康福祉課・生涯学習課等と調整を行う。	④子育て支援センターの利用を検討し、引き続き関係する健康福祉課・生涯学習課等と調整を行う。
第2 四半期	④子育て支援センターの利用を検討し、引き続き関係する健康福祉課・生涯学習課等と調整を行う。	④子育て支援センターの利用を検討し、引き続き関係する健康福祉課・生涯学習課等と調整を行う。
第3 四半期	④子育て支援センターの利用を検討し、引き続き関係する健康福祉課・生涯学習課等と調整を行う。	④子育て支援センターの利用を検討し、引き続き関係する健康福祉課・生涯学習課等と調整を行う。
第4 四半期	④子育て支援センターの利用を検討し、引き続き関係する健康福祉課・生涯学習課等と調整を行う。	④子育て支援センターの利用を検討し、引き続き関係する健康福祉課・生涯学習課等と調整を行う。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 子育て支援センターの自習室としての活用を期待する。	④引き続き子育て支援センターの利用を検討し、関係する健康福祉課・生涯学習課等と調整を行う。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 子育て支援センターの開設が明確になったことから、本取組の企画課における今後について検討されたい。	②企画課は、既存施設を活用する際の、施設管理課との調整及び空き状況の確認作業が主な内容であったため、子育て支援センターが開設され、学習スペースが確保されたことから、目的は達成されたと考えている。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	健康福祉課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人財の育成		
施策	学びを通して社会に貢献できる人財の育成	進捗状況	100%		
KPI	全国学力テスト全国順位	本年度目標値	5位以内	現状値	25位
KPI	中学校における英検3級取得率	本年度目標値	22.0%	現状値	22.6%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取 組 内 容	4月			①プログラム作成について育脳インストラクターからの助言指導。（メール、電話等）	
	5月	①育脳プログラムを作成のため、研修会・講演会等の開催、第5回作成委員会（9月予定）の開催をする。原案最終構成をする。啓発普及に取り組んでいく。		①5/17.18子育て講演会・子育て講座を開催。育脳インストラクター指導のもと原案を作成。5/22第4回作成委員会を開催する。	
	6月			①プログラム作成について育脳インストラクターからの助言指導。（メール、電話等）	
	7月			①プログラム作成について育脳インストラクターからの助言指導。（メール、電話等）	
	8月	①育脳プログラムを作成のため、研修会・講演会等の開催、第5回作成委員会（9月予定）の開催をする。原案最終構成をする。啓発普及に取り組んでいく。		①プログラム作成について育脳インストラクターからの助言指導。（メール、電話等）	
	9月			①9/1子育て講座、9/2子育て講演会を開催。育脳インストラクター指導のもと原案を作成。9/21第5回作成委員会を開催する。	
	10月			①プログラム作成について育脳インストラクターからの助言指導。（メール、電話等）印刷原稿作成。	
	11月	①育脳プログラムを作成、啓発普及に取り組んでいく。		①プログラムの印刷原稿作成。啓発普及に取り組む。	
	12月			①プログラムの印刷原稿作成。啓発普及に取り組む。	
	1月			①プログラムの印刷依頼中。啓発普及に取り組む。	
	2月	①育脳プログラムを作成、啓発普及に取り組んでいく。		①プログラムの印刷依頼中。啓発普及に取り組む。	
	3月			①プログラムの印刷終了したので、次年度配布に向けて準備する。啓発普及のため、3月5日、6日に育脳インストラクターによる講演会、講座、子育て関係者による研修会を開催する。	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	①育脳インストラクターに助言を頂きながら、プログラムの原案を作成中。最終構成のため、作成委員をはじめ、保育園・認定こども園・小学校に意見を伺い集約、作成委員会を開催検討する。啓発普及にも引き続き取り組んでいきたい。	①育脳インストラクターに助言を頂きながら、プログラムの原案を最終構成していくとともに、啓発普及に引き続き取り組んでいきたい。育脳インストラクターによる9/1、2講座の予定。第5回委員会9月開催予定。プログラムのイラストに町内在住のお母さんに依頼する。
第2四半期	①育脳インストラクターに助言を頂きながら、プログラムの原案を作成、最終構成のため、第5回作成委員会にてご意見を伺いました。会議のご意見をふまえ再度意見を伺い集約、修正中である。今後は、印刷に向けて、印刷原稿を作成していく。啓発普及にも引き続き取り組んでいきたい。	①印刷に向けてプログラムの原案を最終校正していく。今後は、啓発普及に向けて、保健センタースタッフ及び子育て支援関係者で研修会を開催し、どのように啓発普及していくかプログラムの実践に向けて検討していく。講座等の開催により、プログラムの啓発普及にも引き続き取り組んでいきたい。
第3四半期	①育脳インストラクターに助言を頂きながら、プログラムの原案を作成、最終構成のため、成委員会にてご意見を伺いました。印刷原稿を作成、印刷の準備を進めていく。啓発普及にも引き続き取り組んでいきたい。	①育脳インストラクターに助言を頂きながら、プログラムの原案を作成、最終構成のため、成委員会にてご意見を伺いました。印刷原稿を作成、印刷の準備を進めていく。啓発普及にも引き続き取り組んでいきたい。
第4四半期	①プログラムが完成したので、次年度は、作成したプログラムを活用した啓発普及を推進していきたい。	①作成したプログラムに基づき、育脳インストラクターから指導を受けて、子育て施設や乳幼児健診等で実践していきたい。作成したリーフレットを5月から子育て世代の保護者（小学校3年生以下）に配布していきたい。また、全世帯に対して、概要版を配布していきたい。6月13日、14日に育脳インストラクターによる講演会・講座・研修会を予定している。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての 次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	関係各課と連携を図りながら、プログラムの啓発普及に引き続き取り組んでいきたい。
	第2 四半期	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	
総括（下半期も含む）		委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	関係各課と連携を図りながら、プログラムの啓発普及に引き続き取り組んでいきたい。
総括（第4 四半期も含む）		②意見・提言 育脳プログラムの効果的な展開に期待する。	

		課局名	学校教育課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる		政策	未来にはばたく人財の育成	
施策	学びを通して社会に貢献できる人財の育成		進捗状況	100%	
KPI	全国学力テスト全国順位	本年度目標値	5位以内	現状値	25位
KPI	中学校における英検3級取得率	本年度目標値	22.0%	現状値	22.6%
KPI		本年度目標値		現状値	
①年間計画（スケジュール・工程）			②実施内容・実績・成果		
主 な 取 組 内 容	4月	②英検検定料補助金運用について、HPや紙文書で各中学校へ周知する。 ②ALTを小学校3名、中学校2名を配置する。外国語小中連携授業参観を行う。小学校外国語活動推進委員会を実施し、今年度の活動の計画を立てる。 ②中学生海外派遣団員選考試験、選考会の実施。	・4/18 小学校3年生及び中学校1年生を対象に、町独自の学力調査及び生活・意識調査を実施 ③4/11 マイチャレンジ推進事業補助金内示 ③4/20～25 マイチャレンジ推進事業補助金事業計画書提出、交付決定 ②4/24 小学校外国語活動授業参観（七井中） ②4/26 ALTミーティング実施		
	5月	③マイチャレンジ推進事業補助金の内示（20,000円×8学級分） ③各中学校よりマイチャレンジ推進事業補助金事業計画書の提出 ③各中学校へマイチャレンジ推進事業補助金の交付決定、概算払い ③田野中学校、七井中学校においてマイチャレンジ事業を実施 ・小学校3年生及び中学校1年生を対象に、町独自の学力調査及び生活・意識調査を実施し、結果の分析をする。	②5/16 小学校外国語活動授業参観（益子中） ②5/16 タブレットPCデモ実演会 ③5/18 マイチャレンジ推進事業補助金の概算払い（田野中・七井中） ②5/23 とちぎっ子学力向上応援団派遣事業（七井小） ②5/28 中学生海外派遣選考試験 ②5/24 ALTミーティング実施 ①5/30 小学校外国語活動授業参観（田野中）		
	6月	・とちぎっ子学力向上応援団派遣事業に同行し、小学校4、5年生及び中学校2年生を対象に学力調査及び生活・意識調査の結果の分析や学力向上改善プランの計画作成の支援をする。	・6/1 とちぎっ子学力向上応援団派遣事業（田野小） ②6/9 第1回益子町小学校外国語活動推進委員会の実施 ②6/12 中学生海外派遣団員選考会 ③6/13～6/16 田野中・七井中学校マイチャレンジ推進事業実施 ・6/14 とちぎっ子学力向上応援団派遣事業（益子小） ・6/27 学力向上検討委員会事業授業参観（益子小） ②6/28 ALTミーティング実施 ②6/30小学校外国語活動研究授業・授業研究会の実施（田野小6年）		
	7月		②7/25 ALTを講師に外国語活動スキルアップ講座を実施		
	8月	②ALTを講師に外国語活動スキルアップ講座を開催し、小学校教諭の英語力を高められるように支援する。外国語活動研修会を開催し、小学校教諭の知識を高められる支援をする。 ②各小学校パソコン教室内の機器更新に伴い、タブレットパソコンを導入（4小学校） ②中学生海外派遣団員結団式、事前研修会。 ・学力向上検討委員会、町独自の学力調査及び生活・意識調査の結果報告を行う。学力向上改善プランの立案を支援する。 ・第1回町独自の学力調査及び生活・意識調査実績報告書提出依頼、支払い処理。	・8/1（田野小）8/9（七井小）8/17（益子小）とちぎっ子学力向上応援団派遣事業実施 ②8/4 ALTを講師に外国語活動スキルアップ講座を実施 ②8/7 益子町小学校外国語活動研修会の実施 第2回益子町小学校外国語活動推進委員会の実施 ・8/9 益子町小・中学校学力調査結果報告会及び第1回学力向上検討委員会の実施 ②8/3 中学生海外派遣団員結団式及び事前研修会の実施		
	9月	・とちぎっ子学力向上応援団派遣事業に同行し、授業改善の支援をする。	②9/1～4小学校にタブレットパソコン導入（田野小38台、益子小34台、益子西小34台、七井小34台） ・学力向上推進リーダー派遣事業 授業参観（七井小5年生） ②9/20 ALTミーティング実施		
	10月	③益子中学校においてマイチャレンジ事業を実施 ③各中学校よりマイチャレンジ推進事業補助金実績報告書の提出 ②小学校外国語活動授業研究会を開催し、担当教諭の授業力向上を支援する。	②10/4 小学校外国語活動研究授業・授業研究会（田野小2・5年生） ・10/5（益子小）10/18（七井小）10/30（田野小）とちぎっ子学力向上応援団派遣事業研究授業・授業研究会 ②10/24 第3回益子町小学校外国語活動推進委員会の実施 ②10/25 ALTミーティング実施 ③10/30 マイチャレンジ推進事業補助金の概算払い（益子中） ②10/27中学生海外派遣団員壮行会及び事前研修会		
	11月	②中学生海外派遣団壮行会 ②中学生海外派遣団員派遣 ・とちぎっ子学力向上応援団派遣事業に同行し、授業改善の支援をする。	②11/2 教育課程特例校中間発表会（田野小） ③11/14～16 益子中学校マイチャレンジ推進事業実施 ・11/15（田野小）10/22（七井小）とちぎっ子学力向上応援団派遣事業研究授業・授業研究会 ②11/29 ALTミーティング実施 ②11/3～11/11中学生海外派遣団派遣		
	12月		③12/12田野中学校よりマイチャレンジ推進事業補助金実績報告書の提出 ③12/15七井中学校よりマイチャレンジ推進事業補助金実績報告書の提出 ②12/20 ALTミーティング実施		
	1月		・1/18（益子小）とちぎっ子学力向上応援団派遣事業研究授業・授業研究会 ・1/25・26 小学校を対象に、第2回町独自の学力調査実施 ②1/29 外国語活動推進委員会 1/31 ALTミーティング実施 ②1/5中学生海外派遣団報告会 ③1/24益子中学校よりマイチャレンジ推進事業補助金実績報告書の提出		
	2月	③広報ましこにマイチャレンジの様子を掲載（3中学校） ②中学生海外派遣団報告会 ・小学校全学年を対象に、第2回町独自の学力調査や結果の分析をし、学力向上検討委員会にて報告する。 ・第2回町独自の学力調査実績報告書提出依頼、支払い処理。 ・とちぎっ子学力向上応援団派遣事業に同行し、授業改善の支援をする。	・2/1（七井小）2/7（田野小）とちぎっ子学力向上応援団派遣事業研究授業・授業研究会 ③広報ましこ2月号にマイチャレンジの様子を掲載（3中学校） ・2/2 益子町ICT研究授業予定実施（益子小） ②2/15（七井小）2/23（七井小）2/26（益子小）外国語活動出前事業 ②2/28 ALTミーティング実施		
	3月		②3/2（田野小）外国語活動出前事業 ②3/14 ALTミーティング実施 ・2/12 学力向上検討委員会		

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	②英検第1回終了時における中学校3年生での英検検定3級取得者数24名。第2回目までの全学年での英検検定補助金申請者15名。第1回目の英検検定日が栃木県春季各種大会と同日だったため、前年度同時期より申請者が減少した。 ・町独自の学力調査を実施した(小3, 中1)結果、中学1年では、社会科の学力向上に課題があった。全国学力テスト全国順位の目標値に対する現状値については、結果が第2四半期となるため、未記入。	・全国、県、町の学力調結果を基に、内容を分析し学力向上改善プラン作成の支援を行う。
第2四半期	②今年度は外国語活動スキルアップ講座を「ALTとの英語を使った効果的な会話の活動」「絵カードを使った活動」の2講座を設定した。昨年度は13名参加だったが、今年度は35名の参加があった。指導者の指導力が向上し、児童の外国語活動におけるコミュニケーション能力の素地を養うことにつながった。 ・とちぎっ子学力向上応援団派遣事業や益子町小・中学校学力調査結果報告会及び第1回学力向上検討委員会で、各学校の調査結果の分析及び課題の洗い出しを行い、各学校の学力向上改善プランを作成したり、学力向上に関する講話を聴講したりした。指導者の指導力が向上し、児童の学力向上につながった。 ・全国学力テスト全国順位の益子町の順位が6位以下に確定した。目標値に達しなかったが、全国や県との差を縮めた。	②小学校教諭の外国語活動指導のスキルアップができるよう、研修会を開催していきたい。 ・とちぎっ子学習状況調査や全国学力・学習状況調査、町独自学習状況調査の結果を効果的に活用し、検証改善サイクルの確実な運用を図り、児童生徒一人一人の学力を向上させるように、県教委や芳四教研協と連携して各学校を支援する。
第3四半期	②英検第2回終了時における英検検定3級取得者数50名で、英検検定3級取得率21.4%である。第2回目までの英検検定3級受検者は72人で、英検検定3級受検率は31%である。 ②教育課程特例校の中間発表会や外国語活動研究授業及び授業研究会をとおして、児童及び指導者についての益子町外国語活動の成果を確認できた。 ・学力向上応援団派遣事業及び学力向上推進リーダー事業で、各学校の学力向上改善プランをもとに、研究授業や授業研究会を実施し、教師の指導力向上の検証・改善を行った。	②第3回は進路決定が間近なため、受検者数は少ないことが予想できる。校長会やHP等とおして、補助金制度のPRに努め、受検者数を増やしたい。 ②次年度の移行期に向けて、益子町外国語活動推進委員会で、外国語活動(1～4年生)、外国語科(5, 6年生)の年間指導計画の作成のための情報収集に努めたい。 ・第4四半期に向けて、引き続き学力向上応援団派遣事業及び学力向上推進リーダー事業、校内研究授業等において、PDCAの検証改善サイクルを確実に運用できるように、指導・支援をしたい。
第4四半期	③マイチャレンジで派遣された生徒の経験や体験をより多くの生徒に波及させることが昨年度の課題であった。よって今年度は、派遣された生徒の生き生きとした体験写真をましこ広報に多数掲載し、記事の内容をより充実させた。 ・第2回町独自学力調査の分析結果では、低学年は全ての教科で全国平均を上回り良好な結果であった。中高学年は一部の教科で全国平均を下回り、学力向上への対策が必要である。 ②英検第3回終了時における英検検定3級取得者数53名で、英検検定3級取得率22.6%である。第3回目までの英検検定3級受検者は72人で、英検検定3級受検率は30.5%である。	③子どもたち自身の実施後の満足度を調査し、マイチャレンジ推進事業をより満足度の高いものにする。 ・次年度も継続して、学力向上応援団派遣事業及び学力向上推進リーダー事業を活用し、各学校の学力向上改善プランをもとに、研究授業や授業研究会を実施し、教師の指導力向上の検証・改善を行いたい。 ②益子町役場HPや英検補助金の申請用紙を各学校を通して、全生徒へ配付し、保護者や生徒に周知するとともに、学校教職員から英検取得を呼びかけるよう、要請したい。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 タブレットパソコンの有効利用の研究を推進されたい。	②益子町主催で、ICTを活用した研究授業や授業研究会を開催し、授業でのICTの有効利用の研究を推進したい。 ②町小中学校教職員へICT活用に関する研修会の参加を推奨したい。 ・児童生徒の学力の経過が把握できるよう、全国学力・学習状況調査だけでなく、とちぎっ子学習状況調査の益子町結果の公開を検討したい。
	第2四半期	重要業績評価指標の目標値と現状値は子どもたちの本当の学力が正確に伝わらない。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	・「全国学力テスト全国順位」現状値の表現について、変更する。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 推進シート重要業績評価指標「全国学力テスト全国順位」について、推進シートでは本町の子どもたちの学力が県、全国と比較して高いように表現（目標：5位以上に対し、実績値：6位以下）のため、実際のどのくらいのレベルなのかかわからないので表現を再考されたい。	

		課局名	生涯学習課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人財の育成		
施策	学びを通して社会に貢献できる人財の育成	進捗状況	100%		
KPI	全国学力テスト全国順位	本年度目標値	5位以内	現状値	25位
KPI	中学校における英検3級取得率	本年度目標値	22.0%	現状値	22.6%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月			自習室場所の検討（福祉センター 益子駅舎）	
	5月	④自習室の整備			自習室場所の検討（改善センター）
	6月			自習室場所の検討（子育て支援センター）	
	7月			7/5 16:30 益子駅舎内、自習状況確認 机5卓 ほぼ満席8名	
	8月	④自習室の整備			自習室場所の検討（子育て支援センター）
	9月			自習室場所の検討（子育て支援センター）	
	10月				
	11月	④自習室の整備			
	12月			子育て支援センター内設置に向け健康福祉課と協議	
	1月				
	2月	④自習室の整備			
	3月			改善センター予備室を自習室兼図書室として準備。	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	福祉センター、益子駅舎、改善センターを検討したが、施設使用目的や利用時間また、管理者・空調の有無、立地場所、安全上の問題等決定まで至っていない。	今後整備予定の子育て支援センター内に、自習室を設けることで検討している。
第2四半期	現在、益子駅舎の食堂スペースが空いており、そこを如何に有効活用するかが課題である。	子育て支援センター内に、自習室を設けることで検討している。
第3四半期	子育て支援センター内設置に向け、場所・利用時間・備品等の設定が必要。	子育て支援センター以外に、改善センター・駅舎も継続して検討。
第4四半期	田野地区には図書室・自習室がないため、改善センター内に必要性がある。 子育て支援センター内設置に向け、場所・利用時間・備品等の設定が必要。	改善センターについては経費節減のため、図書棚・机・イスは中古物件を探し、学習しやすい環境づくりを進める。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 駅舎での自習室の要望はあると考えるので検討願いたい。	駅舎・改善センター・子育て支援センターでの自習室の整備を検討する。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 本町にも独立した図書館の設置が必要と考える。また、設置後は、図書館と学校図書室との連携を図りたい。	図書館検討委員会を立ち上げ、図書館づくりに向け話し合いを進める。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	健康福祉課		
基本目標	社会に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人財の育成		
施策	たくましく生きる人財の育成	進捗状況	100%		
KPI	東京オリンピック出場選手数	本年度目標値	—	現状値	未実施
KPI	小学生のスポーツクラブ参加率	本年度目標値	64.0%	現状値	60.6%
KPI	小・中学生の新体力テストA級以上取得者の割合	本年度目標値	12.5%	現状値	11.4%
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月	③いきいき講座や思春期教室等開催する。 ⑤町民に親しみやすい体操の考案するため、情報を収集、作成に向けて準備する。体操の曲について検討する。		③12か月相談時思春期教室の打ち合わせ、益子芳星高校と連絡調整。	
	5月			③12か月健康相談時に益子芳星高校生の『赤ちゃんとの触れ合い体験』の受け入れを実施（20名）。妊娠、出産、子育てについてや、身体と心の変化についての正しい知識の普及啓発を実施（5/31） ⑤情報収集	
	6月			③12か月健康相談（6/21） 田野小（生き生き講座）思春期教室（6/22） ⑤情報収集、関係各課と打ち合わせ。	
	7月	③いきいき講座や思春期教室等開催する。 ⑤町民に親しみやすい体操の考案するため、情報を収集、作成に向けて準備する。体操の曲について検討する。		③12か月健康相談（7/14） ⑤作成計画の策定。体操曲の歌詞や作曲について、方法を検討。	
	8月			⑤体操曲の歌詞を町職員が担当することとする。作曲について、依頼先を町内在住の音楽家を念頭に検討。	
	9月			③12か月健康相談（9/20） ⑤歌詞(案)作成。	
	10月	③いきいき講座や思春期教室等開催する。 ⑤町民に親しみやすい体操の考案するため、情報を収集、作成に向けて準備する。体操の曲について検討する。		⑤作成した歌詞を基に、楽曲作成を町内音楽家（高島聡美氏）へ依頼。H29年度末完成予定。来年度の行程について業者に確認。	
	11月			⑤作成した歌詞を基に、楽曲作成を町内音楽家（高島聡美氏）へ依頼。H29年度末完成予定。来年度の行程について業者に確認。	
	12月			⑤作成した歌詞を基に、楽曲作成を町内音楽家（高島聡美氏）へ依頼。H29年度末完成予定。来年度の行程について業者に確認。	
	1月	③いきいき講座や思春期教室等開催する。 ⑤町民に親しみやすい体操の考案するため、情報を収集、作成に向けて準備する。体操の曲について検討する。		⑤作成した歌詞を基に、楽曲作成を町内音楽家（高島聡美氏）へ依頼。	
	2月			⑤作成した歌詞を基に、楽曲作成を町内音楽家（高島聡美氏）へ依頼。H29年度末完成予定。	
	3月			⑤メロディー作成終了。今後、体操の動作と共にテンポ等詳細を決定する。	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	③いきいき講座や思春期教室等教室の開催等により健康づくりを推進している。 ⑤町民に親しみやすい体操については、情報を収集中。具体的にどのように進めていくか考えていく必要がある。体操の曲について検討する。	③児童・生徒の健康づくりを推進、教室の開催や教材の貸し出しを継続する。 ⑤関係各課と連携し、体操考案に向けて話し合う。次年度は、体操の曲について検討、曲づくりを進めていく。
第2四半期	③いきいき講座や思春期教室等教室の開催等により健康づくりを推進している。 ⑤歌詞の確定後、作曲を依頼する。依頼先の確定と今後の体操作成についてCD・DVD作成の部分等、行程が未確定な部分があるため、さらに検討を要する。	③児童・生徒の健康づくりを推進、教室の開催や教材の貸し出しを継続する。 ⑤未確定な行程の確認を進める。
第3四半期	⑤楽曲はH29年度末完成予定。	⑤今後の行程の検討を進める。
第4四半期	⑤メロディー作成終了だが、テンポ等詳細は今後体操の動作と共に作成してゆく。	⑤次年度は動作の作成を進める。動作決定後、DVD等の媒体を作成し、体操の普及に繋げる予定。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	関係各課と連携を図りながら、児童・生徒の健康づくりを推進、教室の開催や教材の貸し出しを継続する。 体操づくりを進めていく。
	第2四半期	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	関係各課と連携を図りながら、児童・生徒の健康づくりを推進、教室の開催や教材の貸し出しを継続する。 体操づくりを進めていく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	

		課局名	農政課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人材の育成		
施策	たくましく生きるための人材の育成	進捗状況	100%		
KPI	東京オリンピック出場選手数	本年度目標値	—	現状値	未実施
KPI	小学生のスポーツクラブ参加率	本年度目標値	64.0%	現状値	60.6%
KPI	小・中学生の新体力テストA級以上取得者の割合	本年度目標値	12.5%	現状値	11.4%
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月			未実施	
	5月	⑥農村公園の点検の実施。		⑥5/2東田井、長堤、小泉、荒町、本郷、原農村公園点検	
	6月			未実施	
	7月			⑥7/10東田井、長堤、小泉、荒町、本郷、原農村公園点検 ⑥農村公園利用状況調査の実施	
	8月	⑥農村公園の点検の実施。		未実施	
	9月			⑥9/6東田井、長堤、小泉、荒町、本郷、原農村公園点検	
	10月			⑥10/17東田井、長堤、小泉、荒町、本郷、原農村公園点検	
	11月	⑥農村公園の点検の実施。		未実施	
	12月			⑥12/27、28東田井、長堤、小泉、荒町、本郷、原農村公園点検	
	1月			⑥東田井農村公園全遊具撤去。多目的広場として利用。 ⑥原農村公園法面補修工事。 ⑥長堤農村公園危険遊具撤去、フェンス補修工事。 ⑥本郷農村公園危険遊具撤去工事。	
	2月	⑥農村公園の点検、遊具撤去工事の実施。		⑥東田井、長堤、小泉、荒町、本郷、原農村公園点検	
	3月			⑥東田井、長堤、小泉、荒町、本郷、原農村公園点検	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点
第1四半期	⑥遊具等の劣化がひどいため、修繕が必要である。	⑥利用者が安全に利用できるよう点検、修繕を行う。
第2四半期	⑥遊具等の劣化がひどいため、修繕が必要である。	⑥利用者が安全に利用できるよう点検、修繕を行う。
第3四半期	⑥遊具等の劣化がひどいため、修繕が必要である。	⑥利用者が安全に利用できるよう点検、修繕を行う。
第4四半期	⑥老朽化が進み危険な遊具を撤去。今後も、老朽化が進み危険な遊具の補修、撤去を行う。	⑥利用者が安全に利用できるよう点検、修繕を行う。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・3委員 改善・見直し・・・1委員 廃止・終了・・・なし	各農村公園の代表者の方にアンケートを実施。昭和50年代に造成した農村公園は、遊具等の劣化が進み、東田井農村公園については廃園、その他の農村公園については、点検並びに遊具等の補修を行いながら利用を続ける。
	第2四半期	②意見・提言 一部の農村公園に荒れた状況が見受けられるので、地域住民の意見を取り入れ、早急な改善が必要と考える。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	昭和50年代に造成した農村公園は、遊具等の劣化が進み、東田井農村公園については廃園、その他の農村公園については、点検並びに遊具等の補修を行いながら利用を続ける。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	

		課局名	学校教育課		
基本目標	社会に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人材の育成		
施策	たくましく生きる人財の育成	進捗状況	100%		
KPI	東京オリンピック出場選手数	本年度目標値	—	現状値	未実施
KPI	小学生のスポーツクラブ参加率	本年度目標値	64.0%	現状値	60.6%
KPI	小・中学生の新体力テストA級以上取得者の割合	本年度目標値	12.5%	現状値	11.4%
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室の開催・案内周知 ③児童生徒の体力向上プログラムの完成。各小中学校に配布。 ②中学校運動部活動外部指導者派遣事業を実施し、各中学校の運動部に外部指導者を派遣し、保険加入処理をする。		③4/5 児童生徒の体力向上プログラムの完成。各小中学校に配布。 ②4/10 各中学校に、外部指導者の推薦を依頼。 ③4/24 各小中学校へ栃木県子供の体力向上啓発資料配布 ②4/27 各中学校からの外部指導者の申請書受理。	
	5月			②5/19 外部指導者の決定。各中学校へ派遣。 ①5/25 各中学校へ全国空手指導者研修会開催要項等配布。 ①5/26 運動部活動指導者研修会周知。	
	6月			②6/2 外部指導者のスポーツ保険加入処理。 ①6/8 各中学校へ全国少林寺憲法・なぎなた指導者研修会開催要項配布 ①6/16 各中学校へ全国相撲指導者研修会開催要項等配布 ③6/13 体力向上プログラム活用授業参観・授業研究会(田野小4年生) ③6/27 体力向上プログラム活用授業参観・授業研究会(益子中2年生)	
	7月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室の開催・案内周知 ②各中学校へ中学校運動部活動外部指導者の今後の配置希望有無調査を実施。 ③日本一輪車協会より田野小学校へ一輪車指導用DVD、一輪車寄贈。		②7/3 中学校運動部活動外部指導者派遣事業の(第1期分)実績報告書提出依頼及び、今後の配置希望有無調査を実施。 ①7/24 「学校における体育活動での事故防止対策推進事業」における開催通知送付 ①7/24 各中学校へ学校合気道実技指導者講習会開催通知等配布。	
	8月	③児童生徒の体力向上プログラムを活用した教員向け授業研究の研修会を開催。 ③児童生徒の運動能力向上のため運動用具を整備 ②中学校運動部活動外部指導者派遣事業の(第1期分)実績報告書提出依頼。 ②中学校運動部活動外部指導者(第1期分)謝金支払い処理 ②中学校運動部活動外部指導者へのスポーツ指導者育成教室開催案内		①8/1 各中学校へ柔道指導者研修会開催要項等配布。 ①8/18 外部指導者へスポーツ指導者育成教室事業講演会の実施案内通知発送 ③8/23 日本一輪車協会より田野小学校へ一輪車指導用DVD寄贈。 ①8/25 各中学校へ剣道指導者研修会開催要項等配布。	
	9月	③H29年度の新体力テストが実施され、小・中学生のA級以上取得者割合の現状値把握。 ③小中学校の健康・体力づくりの取組について、運動用具の整備・充実を図る。		②9/8 中学校運動部活動外部指導者(第1期分)謝金支払い処理 ③9/12 日本一輪車協会より田野小学校へ一輪車寄贈。(10台) ③9/15 学校での体育活動・運動部活動中の事故防止等について周知 ②9/26 七井中バレー部外部指導者追加新規申請受付 ③9/26 各小中学校から運動用具購入要望申請・発注	
	10月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室の開催・案内周知 ②中学校運動部活動外部指導者派遣事業の(第2期分)実績報告書提出依頼。 ②中学校運動部活動外部指導者(第2期分)謝金支払い処理 ③小中学校の健康・体力づくりの取組について、運動用具の整備・充実を図る。		①10/2 各中学校へ弓道指導者研修会開催要項等配布。 ①10/6 各小学校へ児童生徒の体力向上指導者研修会開催通知配布。 ③今後の更なる小中学校の健康・体力づくりの取組のため、各小中学校から現在必要としている希望の運動用具を申請してもらい町で購入。 10月中に各小中学校へ配布し、整備・充実を図った。	
	11月			②11/22 中学校運動部活動外部指導者派遣事業の(第2期分)実績報告書提出依頼。	
	12月			①12/6 益子中が平成29年度新体力テスト優秀校表彰決定 ①12/13 中学校運動部活動外部指導者宛て健康教室(スポーツ栄養講座)の開催通知発送 ②12/27 中学校運動部活動外部指導者(第2期分)謝金支払い処理	
	1月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室の開催・案内周知 ②中学校運動部活動外部指導者源泉徴収票作成処理 ②中学校運動部活動外部指導者派遣事業の(第3期分)実績報告書提出依頼。 ②中学校運動部活動外部指導者(第3期分)謝金支払い処理		①1/5各小中学校へ運動部活動中の死亡事故について通知周知 ①1/24学校相撲実技指導者講習会開催通知配布。 ②中学校運動部活動外部指導者源泉徴収票作成処理	
	2月			②2/22平成30年度児童生徒の体力向上指導者研修会における講師派遣の決定通知受理	
	3月			②中学校運動部活動外部指導者派遣事業の(第3期分)実績報告書提出依頼。 ②中学校運動部活動外部指導者(第3期分)謝金支払い処理	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	②20運動部中、現在13運動部にて、中学校運動部活動外部指導者派遣事業を実施。 20運動部中、現在7運動部にて、中学校運動部活動外部指導者不在という状況となっている結果である。この数値は昨年度同様である。 ③体力向上プログラムを活用した研究授業及び授業研究会を開催した。各学校の現状を分析し、課題となる体力要素（筋力、柔軟性、敏しょう性、持久力、瞬発力、投力）の向上に繋がる体育の授業であり、個々の体力向上や新体力テストA級以上取得者割合の増加に有効である。 ③小・中学生の新体力テストA級以上取得者の割合の目標値に対する現状値については、結果が第2四半期となるため未記入。	②中学校運動部活動外部指導者不在でも、今後の子どもの運動技術向上を支援する上で支障はないのかという課題を解決するため、今後各中学校へ中学校運動部活動外部指導者の今後の配置希望有無調査を実施予定。 調査結果を踏まえ、外部指導者活用の改善点や問題点を把握する必要がある。
第2四半期	③体力向上プログラムが今年度より本格的に実施されたが、H29年度の新体力テストの小・中学生A級以上取得者割合の現状値は11.39%であった。（H28は12.00%、H27は12.17%、H26は12.45%） 体力向上プログラム導入による割合の増加が期待されたが、結果としては減少してしまった。各学校の現状を分析し、弱い分野の課題となる体力要素（筋力、柔軟性、敏しょう性、持久力、瞬発力、投力）の向上に繋がるような取組を支援していきたい。	③次期四半期には、現在発注している【各小中学校から要望のあった運動用具類】が納品となる。 これらは新体力テストの結果において低い値であった項目に対し、その課題を克服する為に必要な運動用具が対象となっている。 新しく整備されたこの運動用具を活用し、運動能力の向上を計りたい。
第3四半期	①益子中学校が「平成29年度新体力テスト優秀校表彰」に決定されるという結果が出た。（これは栃木県教育委員会が、県内中学校における体力向上に係る取組の推進と一層の充実を図るため、平成29年度「児童生徒の体力・運動能力調査」の調査結果を取りまとめ、顕著な成果をあげている県内上位5%程度の公立中学校を表彰するものである）	①定期的に未来のトップアスリートの基礎をつくる教室やセミナー、指導者育成教室等の開催・案内通知が教育委員会宛に来るので、引き続き次期4半期も各小中学校や外部指導者へ周知案内をしていく。
第4四半期	①定期的に未来のトップアスリートの基礎をつくる教室やセミナー、指導者育成教室等の開催・案内通知が教育委員会宛に来るので、引き続き次年度も各小中学校や外部指導者へ周知案内をしていく必要がある。	①次年度、益子町において【平成30年度児童生徒の体力向上指導者研修会における講師派遣】が決定した。県から派遣された講師による研修会をより多くの先生方へ実施し、子どもの体力向上を推進させたい。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	各中学校宛に実施した現状確認調査結果は下記の通りである。 ・平成28年度現状調査（運動部8部に外部指導者不在） 8部中、8部が外部指導者不在の現状で大丈夫であると報告。 ・平成29年度現状調査（運動部6部に外部指導者不在） 6部中、4部が外部指導者不在の現状で大丈夫であると報告。 6部中、2部が外部指導者を欲していると報告。 現在2運動部において欲している現状を把握しており、この2部活動について、外部指導者募集情報周知に努めたい。
	第2四半期	②意見・提言 運動部外部指導者が不足している状況について改善を進められたい。	
	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	外部指導者は各中学校から派遣申請をしてもらい、教育委員会にて認定している。申請の際に資格、スポーツ指導歴、推薦理由等の詳細を記載してもらい、慎重に人選を行いたい。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 外部指導者について、教員への負担軽減、部活動をやりたい子双方に効果的な制度設計を望む。 外部指導者が不足しているが、勝利至上主義等、学校教育と反するような指導者では困る（全国的に体罰等の問題が発生している）。外部指導者の登用にあっては、人選等を慎重に行われたい。	

		課局名	生涯学習課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人材の育成		
施策	たくましく生きるための人材の育成	進捗状況	100%		
KPI	東京オリンピック出場選手数	本年度目標値	—	現状値	未実施
KPI	小学生のスポーツクラブ参加率	本年度目標値	64.0%	現状値	60.6%
KPI	小・中学生の新体力テストA級以上取得者の割合	本年度目標値	12.5%	現状値	11.4%
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月			①町内中学校の運動部部員調査。小学生のスポーツクラブ参加率集計。	
	5月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室に向けての開催準備 ②スポーツ少年団活動や中学校運動部の外部指導者派遣事業の充実を図るため、専門知識を備えた人材の育成計画の作成 ④ましこチャレンジクラブのプログラムの充実と広報活動の支援 ⑤町民に親しまれる体操を考案するため、情報の収集等を行う。		①町体育協会総会にて指導者育成教室の説明（5/11） ①一流選手の試合を観戦させるために栃木SC町民デー開催の準備 ④クラブ運営委員会にて運営の検討（5/9）。クラブ総会に参加し、事業報告や計画、予算等について説明を受けクラブ運営について再確認した（5/20）。芳賀地区総合型SC連絡協議会にて7/9開催のフェスタについて内容の検討をした（5/13）	
	6月			①栃木SCと地域支援パートナーシップ協定（6/1）。栃木SC町民デー開催準備、及びチケット配付開始（6/6～）①②スポーツ少年団総会にて指導者育成教室の説明（6/8）。育成教室の全体講習及び「トミ」教室の講師決定及び開催日程調整。④芳賀地区スポーツ交流会のチラシを作成。クラブ運営委員会にて運営検討（6/13）③マシコット体操について保健センターとの打合せ（6/29）	
	7月			①②全体講習9/2開催（講師：岩出雅之）に伴う講師依頼（7/4）及び参加者協力依頼（7/19）。一流選手の試合を観戦させるために栃木SC町民デーを開催（7/8）④ましこチャレンジクラブ運営委員会において事業内容について打合せ（7/4）。7月下旬広報お知らせ版にて、会員募集について掲載。芳賀地区スポーツ交流会を開催し、未加入者へのPRを図った（7/9）	
	8月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室に向けての開催準備 ②スポーツ少年団活動や中学校運動部の外部指導者派遣事業の充実を図るため、専門知識を備えた人材の育成計画の作成 ④ましこチャレンジクラブのプログラムの充実と広報活動の支援 ⑤町民に親しまれる体操を考案するため、情報の収集等を行う。		①②少年スポーツ教室の講師及び開催時期の検討。全体講習9/2開催（講師：岩出雅之）に伴う町体育協会等への参加取りまとめ依頼（8/2） ④ましこチャレンジクラブ運営委員会において事業内容について打合せ（8/8）。8月下旬広報お知らせ版にて、会員募集及び事業のPRを記載した。	
	9月			①②少年スポーツ教室の講師及び開催時期の検討。全体講習として、岩出雅之帝京大学ラグビー部監督講演会の開催。140名参加（9/2） ④ましこチャレンジクラブ運営委員会において事業内容について打合せ（9/12）③ましこ体操について、保健センターと進捗状況及び今後の予定について打ち合わせ（9/27）楽曲について作成中。	
	10月			①②少年スポーツ及び指導者育成教室の講師及び開催時期の検討。 ④運営委員会にて運営の検討（10/17）現在加入者564名。スポーツ交流会（2/12開催）について検討	
	11月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室に向けての開催準備 ②スポーツ少年団活動や中学校運動部の外部指導者派遣事業の充実を図るため、専門知識を備えた人材の育成計画の作成 ④ましこチャレンジクラブのプログラムの充実と広報活動の支援 ⑤町民に親しまれる体操を考案するため、情報の収集等を行う。		①②少年スポーツ教室（野球）の開催（11/5、参加者149名） ④11月下旬お知らせ版にて、会員募集について掲載した。 ④運営委員会にて運営の検討（11/14）現在加入者590名。 平成30年度の予算、及びスポーツ交流会について検討	
	12月			①②少年スポーツ教室（剣道）の開催（12/2、参加者63名）（サッカー）の開催（12/24、参加者180名） ④12月上旬・下半期お知らせ版にて、会員募集について掲載した。 ④運営委員会にて運営の検討（12/12）現在加入者609名。 ④芳賀地区総合型SC連絡協議会にて平成30年度フェスタ開催について打合せをした。（12/22）	
	1月			①②少年スポーツ及び指導者育成教室の講師及び開催時期の検討。 ④1月下旬お知らせ版にて、会員募集について掲載した。 ④運営委員会にて運営の検討（1/23）現在加入者611名。来期の事業計画について検討。	
	2月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室に向けての開催準備 ②スポーツ少年団活動や中学校運動部の外部指導者派遣事業の充実を図るため、専門知識を備えた人材の育成計画の作成 ④ましこチャレンジクラブのプログラムの充実と広報活動の支援 ⑤町民に親しまれる体操を考案するため、情報の収集等を行う。		①②少年スポーツ教室の開催。2/17柔道、参加者58名。2/17、18卓球、参加者50名。2/25バドミントン、参加者62名。 ④上半期お知らせ版にて、ましこスポーツ交流会参加者募集について掲載。下半期にて平成30年度クラブ会員募集について掲載。④運営委員会について運営の検討（2/6）現在加入者611名。来期の事業計画と交流会の打合せ。2/12ましこスポーツ交流会開催に伴う支援	
	3月			①②少年スポーツ教室の開催。3/4ソフトテニス、参加者111名、3/18バレーボール、参加者64名。指導者育成教室の開催。3/3遠井努氏のバドミントン実技講習、参加者45名、3/10鈴木いずみ氏の栄養学について講演、参加者60名。④3月上旬・下半期お知らせ版にて、会員募集について掲載した。運営委員会について運営の検討（3/13）来期の行事予定、新規教室等について打合せ。	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	①少年スポーツ教室は、一流選手のオフシーズンに実施するため、11月頃から開催する予定。どのような選手や指導者に依頼するかを検討し、交渉に入っていく。 ①②指導者育成教室については、町体育協会、町スポーツ少年団総会時に説明を行った。今後、具体的な内容を検討していく。7/8開催の町民デーについて、6/6から参加者募集を開始したところ、昨年以上の反響があるように思えた。 ④今年度も運営委員会や事業部会に参加し、事業の検討を行い、運営方法や参加者増に向けた広報活動、プログラムの検討を随時行っている。さらに、今年度からは芳賀地区総合型地域スポーツクラブ連絡協議会が発足され、益子町が中心となって事業を進めることになった。事業をとおして、クラブのPRをさらに広めていく。 ⑤については、体操の楽曲製作について、今後、検討し進めていく。	①②少年スポーツ教室及び指導者育成教室について、講師や開催時期の検討し、依頼先に提案をしていくことが必要。または、講師としてふさわしい人をリサーチする。 ④7/9開催のフェスタを成功させること。 ⑤楽曲の概要を検討すること。
第2四半期	①②少年スポーツ教室は、一流選手のシーズンオフに開催するため、11月頃から開始する。剣道と野球については、開催時期と講師について決まりつつあるが、他種目について、メダリスト等の一流選手の指導が受けられるように交渉していく。また、指導者育成講習会については、岩出監督の講演会では、指導者のスキルアップに寄与したと思えた。今後、引き続き、講師の選定と開催時期の検討を進める。 ④ましこチャレンジクラブの加入者は、9月で558名であり、昨年同期590名と比較して減少気味であるため、広報お知らせ版を利用しながら継続してPRを続ける。 ⑤楽曲をどのように作成して、調整をしていくのか検討する必要がある。	①②少年スポーツ教室については、一流のアスリートを呼べるように交渉を行っていく。指導者育成教室については、研修内容を検討しながら、講師の選定と交渉を進めていく必要がある。 ④ましこチャレンジクラブに参加したくなるような、プログラムの内容及び広報内容について検討をして、継続して広報に掲載していく。 ⑤引き続き、保健センターと情報を共有しながら進める。
第3四半期	①②少年スポーツ教室では、3種目(野球・剣道・サッカー)が開催され、子供たちや指導者にとって有意義な教室になった。その他の種目については、引き続きトップアスリートの指導が受けられるように進めて行く。 指導者教室では、バドミントン講習会(3/3)、また陸上を主として全体的な講習会(3/10)の講師や日時が確定したので、多くの指導者や競技者が参加出来るようにPRを進める必要がある。 ④ましこチャレンジクラブの加入者は、12月で609名であり、毎月、徐々に加入者が増えて続けている。引き続き、広報お知らせ版を利用しながら継続してPRを続けていく。	①②少年スポーツ教室では、予定の残り5種目について、講師と参加者との調整を行い、より中身が濃い充実した教室となるよう進めて行く。また、指導者教室については、日時、講師が決まったので多くの参加者が集まり、今後の競技レベル、指導力アップにつながるよう進めたい。 ④チャレンジクラブについては、年度の後半以降になるので新規加入者を増やすのは難しいが、引き続き広報活動を行い、今後も今の加入者人数を確保できるよう努めたい。また、2月にはスポーツ交流会があるので、多くの参加者が集まるよう内容検討や広報活動を支援していきたい。
第4四半期	①②少年スポーツ教室では、5種目(柔道・卓球・バドミントン・ソフトテニス・バレーボール)が開催され、子供たちや指導者にとって有意義な教室になった。指導者教室では、バドミントン講習会(3/3)で実技講習を受けた。また陸上を主として全体的な講演会(3/10)を開催し、栄養学について指導を受け指導者をはじめ、保護者や子供たちのスキルアップに繋がった。教室開催が同じ時期に集中し、また、町行事と重なってしまったことがあった。体育館が使用できず、中学校の体育館を利用したり、参加者に不便をかけてしまったことがあった。 ④チャレンジクラブ加入者を増やすために、町広報誌に会員募集について掲載した。一人でも多く、クラブについて周知できるよう、内容の検討を踏まえて、次期会員募集に繋がるようPRしていく。	①②少年スポーツ教室では、より効果が上がる講師の選定、そして、メダリスト等のトップアスリートを招くことができるよう調整をする。また、開催時期について、小学6年生や中学3年生が引退する前に実施できるよう検討する。 指導者育成教室については、保護者や指導者へのスキルアップに繋がるような講演会等を開催する。 ④4年後には、toto助成金が打ち切りになるため、自立して運営を進める方策、町としての支援方法を検討していく必要がある。また、会員を増やすための魅力あるクラブづくり、仕組みを検討していく。 ⑤保健センターと情報を共有しながら、曲に合わせた体操を考案していく。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	引き続き実施計画に基づき進めていく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 一流アスリートによるスポーツ教室、指導者向けの講演会については、町民から好評化を受けているようであるので、ぜひ継続されたい。	引き続き実施計画に基づき進めていく。 また、参加者が興味を持てるような講師の選定に努めていく。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	観光商工課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人材の育成		
施策	人財が育つ環境づくり	進捗状況	100%		
KPI	町民学士認定者数	本年度目標値	177人	現状値	155人
KPI	ましこ検定の合格者数	本年度目標値	45人	現状値	20人
KPI	遊びの達人の登録者数	本年度目標値	5人	現状値	8人
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月	②第1回実行委員会の開催（昨年度の反省）		②第1回実行委員会の開催。（4/13、第1回ましこ検定の反省について）	
	5月				
	6月				
	7月	②第2回実行委員会の開催（実施に向けての検討）			
	8月			②第2回実行委員会の開催。（8/10、第2回ましこ検定の日程検討について）	
	9月			②第3回実行委員会の開催。9/12。	
	10月	②第3回実行委員会の開催について（実施に向けての検討）			
	11月			②ましこ検定実施に向けチラシ等の校正。	
	12月				
	1月	②第4回実行委員会の開始。ましこ検定の実施。			
	2月			③ましこ検定 2/24実施	
	3月				

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	②ましこ検定の受験者が少なかったため、広報活動への工夫。	②ましこ検定の新しい問題の検討と広報活動の検討。
第2四半期	②ましこ検定の受験者増に向け、広報活動の研究。	②ましこ検定の新しい問題の検討と広報活動の検討。
第3四半期	②新聞折り込み等での周知活動。	②受験しやすい環境づくりに努める。
第4四半期	②新聞等で検定の周知は図ったが、ましこ検定受験者数が増えなかったことが課題。	②更なるPRに努め、受験しやすい環境づくりを検討する。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての 次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	関係各課及び団体と連携し、事業の推進を図る。
	第2 四半期		
総括（下半期も含む）	第3 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	関係各課及び団体と連携し、事業の推進を図る。
	総括（第4 四半期も含む）		

		課局名	生涯学習課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人財の育成		
施策	人材が育つ環境づくり	進捗状況	100%		
KPI	町民学士認定者数	本年度目標値	177人	現状値	155人
KPI	ましこ検定の合格者数	本年度目標値	45人	現状値	20人
KPI	遊びの達人の登録者数	本年度目標値	5人	現状値	8人
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			①町民大学講師依頼（2名） ②第1回実行委員会の開催（4/13第1回ましこ検定の反省について 10人） ③遊びの達人講座開催計画の策定（5回） ④4/28遊びの達人登録者3名（魚釣り2名、サワガニ採り1名）	
	5月	①ましこ町民大学 募集開始 ②第1回ましこ検定実行委員会の開催（昨年度の反省） ③遊びの達人講座の計画策定 ④第1回遊びの達人講座の実施予定（6/10）「魚釣り、虫採り」			
	6月			①町民大学 学生募集開始6/1～7/30 ③6/6遊びの達人登録者1名（山登り） ③6/10 遊びの達人講座の開催「魚釣り」「サワガニ採り」（参加者19名） ③遊びの達人登録者数6名（6/30現在）	
	7月			①町民大学 学生募集期間を延長（～8/18） ③7/6遊びの達人登録者1名、計7名（虫採り） ③第1回遊びの達人講座について広報ましこ8月号に掲載 ③第2回遊びの達人講座の開催「虫採り教室」（参加者子ども37名、大人12名）	
	8月	①町民大学の開講（9/3） ②第2回ましこ検定実行委員会の開催（募集チラシの検討） ③第2回遊びの達人講座の実施予定（7/22）「昆虫採集」		①町民大学の学生募集終了（応募者28名） 町民学士1名登録（8/20）生涯学習コーディネーター研修 ①役場職員講師向けの研修開催（8/23） ②内部打ち合わせ（8/8 5人）、第2回実行委員会（8/10募集チラシの検討12人）	
	9月			①町民大学入学式・第1回講義（9/3）、 第2～5回講義（9/7・14・21・30） ②第3回実行委員会開催（9/12 10名）	
	10月			①町民大学第6～9回講義（10/5・12・19・28）	
	11月	①町民大学の運営 ②第3回実行委員会の開催（出題問題の検討） ③第3回遊びの達人講座の実施予定（11/4）「雨巻山登山」		①町民大学第10～14回講義（11/2・9・16・25・30） ②ましこ検定チラシ、問題等の修正をし、チラシの印刷依頼を済ませた。 ③第3回遊びの達人講座の開催「雨巻山登山」（参加者子ども20名）	
	12月			①町民大学第15～16回講義（12/7・14） ②校長会で検定の周知依頼済（12/1）、ましこ検定チラシの校正中	
	1月			①町民大学第17～19回講義（1/11・18・25） ②ましこ検定の受検者募集記事を広報とお知らせ版に掲載。チラシは自治会回覧で周知を図った。（1/31） ・校長会でましこ検定のPRをするとともに、町内各学校にチラシを送付（1/23） ・下野新聞に掲載（1/27）・町HP及びFacebookに案内をUP ③1/20遊びの達人登録者1名、計8名（鳥の巣箱作り）	
	2月	①町民大学の運営 ②第4回実行委員会の開催、ましこ検定の実施 ③第4回遊びの達人講座の実施予定（2/24）「鳥の巣箱作り」		①町民大学第20・21回講義（2/3・8）、第22回講義・アクションプラン発表会・卒業式（2/17）（卒業生25名） ②受検者募集2/12・17・真岡新聞に掲載（2/2）・検定実施（2/24、申込者24人、欠席2名、合格者20名） ③遊びの達人登録証の作成（2/14） ③第4回遊びの達人講座の開催「鳥の巣箱作り」参加者（子ども20名）	
	3月			①広報ましこ4月号に卒業式及び体験記の記事を掲載 ②広報ましこ4月号に検定合格者等の記事を掲載	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	①7/4現在、想定よりも町民大学の応募者が少ない。入学者増の対策が課題である。 ②予想以上にましこ検定受験者が少なかったため、広報活動に工夫が必要。実行委員会の反省事項は、学生の受験者が少なかったことで学校への働きかけや昨年度の問題の提示などを行い、検定問題への不安を取り除くことなどがあげられた。	①入学生確保のため、会議等の機会を捉え、多様な場で声かけを行ってきたが、そのような待ちの姿勢では期待できない。対象者を洗い出し、複数班体制で入学依頼を行う。脚で稼ぐ方法に切り替える。 ②ましこ検定の新しい問題の検討と広報活動の検討を行う。
第2四半期	①町民大学の学生が無事卒業できるよう、面白く分かりやすい授業の展開に努める。 ②ましこ検定受験者増に向けて、わかりやすい広報に努める。	①町民学士の認定には、全22回の授業のうち最低でも17回の出席が必要である。学生に対してこまめなフォローを行う。 ②ましこ検定が気軽に受けられるものであることが伝わるようなチラシ作りに努める。
第3四半期	①第2四半期から引き続き、町民大学の学生が無事卒業できるよう、面白く分かりやすい授業の展開に努める。 ②新聞等での掲載を依頼し、町内外に向けて検定のあることを周知徹底する。	①卒業時のアクションプランづくりまで到達できるよう、学生に対するフォローを行う。 ②気軽に受験できることを前面に出した広報に努める。
第4四半期	①学生25名が町民学士に認定されたが、目標の30名に達しなかったことが課題。 ②新聞等で検定の周知は図ったつもりではあるが、ましこ検定受験者数が増えなかったことが課題。	①第5期の卒業生の活動をフォローするとともに、第6期の学生確保につなげるよう、勧誘活動を展開する。 ②4月に実施する実行委員会で2回目の結果を報告し、課題について洗い出しを行い、問題点について検討する。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けて の 次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上 半 期	第1 四 半 期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	町民大学の卒業生については、地域の課題解決につながるよう なまちづくり活動を実践してもらうよう進める予定である。
	第2 四 半 期	②意見・提言 町民大学の卒業生については、各種講座等の講師、その他ボラ ンティア等を含め、活躍の場の提供を検討するのはいかがか。	
総 括 （ 下 半 期 も 含 む ）	第3 四 半 期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	ましこ検定の取り組みを効果的に進めていき、町内だけでな く、町外者への認知度アップへとつなげていきたい。 また、町内3中学校へは、ふるさと学習の一環として活用でき るように受検しやすいよう検討していく。 町民大学では引き続き、町民と行政による協働体制で、地域の 課題解決につながる取組を実践する人材の育成を目指していく。
	総 括 （ 第 4 四 半 期 も 含 む ）	②意見・提言 ましこ検定について、取組が町民への認知度アップになってき ている。	